

神から与えられた知恵

ダニエル書2章

王が求められる秘密は、知者、法術士、博士、占い師など、これを王に示すことはできません。しかし秘密をあらわすひとりの神が天におられます。(27、28)

バビロン王ネブカデネザルは自分が見た夢に思い悩み、国中の知者たちに命じてその夢を解き明かすように命じます。自分が見た夢の内容を伝えずに、「その意味を解き明かせ。さもなければ知者は皆殺しだ」といういかにも大帝国の暴君らしい命令でした。

王の要求に誰も答えられず、知者たちが殺されようとしていたとき、ダニエルは「わたしが信じている神ならできると申し出ます。三人の友人と共に、神の憐れみを祈り求めました。すると王は、王が見た夢の内容とその意味をダニエルに教えてくださいました。ネブカデネザル王の前に立つたダニエルは、これから解き明かす知恵がどこから来るものかを明らかにします。「しかし秘密をあらわすひとりの神が天におられます」と。自分自身に知恵があるのでなく、その知恵は自分が信じる神から与えられたものであるということです。知恵のある多くの者たちは、しばしばその知恵のゆえに自らを誇ります。けれどもダニエルは自分を誇るのではなく、知恵を授けてくださった主なる神をほめたたえたのです(20)。

わたしたちもダニエルのように、必要な知恵を天の神に求めようではありませんか。「あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせず惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう」(ヤコブ15)。